加賀市における在宅医療・介護連携推進 の取組について

在宅医療·介護連携推進 会議等の体制(H28年度)

加賀市在宅医療連携推進協議会

幹事会

構成(関係団体・機関の代表者・在宅医療担当者)

〇加賀市医師会 〇加賀市介護サービス事業者協議会

〇加賀歯科医師会 〇病院

〇加賀市薬剤師会 〇行政(加賀市)



各団体・機関で 共有

ワーキンググループ

①ICTを用いた医療・介護連携 (ID-Link在宅運用ワーキング)

実施内容•目的

- □ 在宅医療における診療情報共有ステム (ID-Link)の実証運用
- □ 病院・診療所・訪問看護ステーション間 でのリアルタイムな情報の共有
- 利用したうえでの課題や利点等の取り まとめと報告
- □ (市内でのシステムの広がりの可能性の検討)

②医療・介護連携の課題把握、対応検討 (医療と介護の連携ワーキング)

実施内容•目的

- □ これまでの検討会等で出された各職種 やサービス、住民の強みや弱み、問題 点等をもとに課題解決に向けた取組等 を検討
- □ コーディネーターへの相談内容等からも 課題を抽出
- □ 研修会、事例検討会等、必要な対応の 検討 (次年度以降の計画含む)
- □ 在宅医療資源情報(アンケートのまとめ)の検討

構成

- □ ID-Linkの情報提供施設
 - ・加賀市医療センター
 - 加賀たちばな元気クリニック
- □ iPadを用いた連携訪問看護ステーション
 - 訪問看護ステーションえがお
 - ・訪問看護ステーション加賀
 - ・サンウェルズ訪問看護ステーション
- □ 医師会

構成

- □ 医師、歯科医師
- □ 薬剤師
- □ 看護師
 - ・訪問看護ステーション
 - •病院(退院支援)
- □ 主任ケアマネジャー
 - •居宅介護支援
 - •小規模多機能型居宅介護
- □ 介護福祉士·訪問介護員
 - •訪問介護
 - ·定期巡回·随時対応型訪問介護看護

① ID-Link在宅運用ワーキング

【概要•目的】

- ・石川県医師会の「ICTを用いた医療・介護情報共有推進モデル事業」の実施。
- ・在宅医療における連携に「ID-Link」を活用し、その効果や課題等を把握する。
- ▶ 県下全域で地域の基幹病院の診療情報を、診療所等で閲覧できるネットワークが構築されている(いしかわ診療情報ネットワーク)。
- ▶ これを、在宅医療等での利用へ拡大するため、診療所における診療情報を他の医療機関、訪問 看護ステーション等で閲覧できる仕組を構築する方向で、県医師会でモデル事業を実施してい る。

「ICTを用いた医療・介護情報共有推進モデル事業 〜訪問看護ステーションとの連携実証〜」は、訪問看護ステーション、かかりつけ医、後方支援病院の三者間で、いしかわ診療情報共有ネットワーク(ID-link)を用いた情報共有を行うことが目的です。

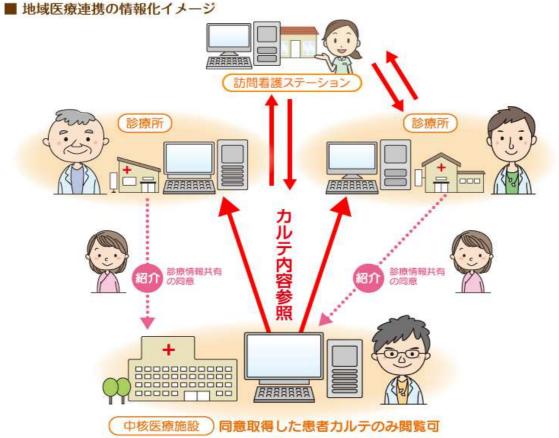


石川県医師会の事業説明資料から抜粋

1. ID-Linkとは



ID-Link紹介資料(石川コンピュータセンター提供)から抜粋



「いしかわ診療情報ネットワーク」説明資料から抜粋

② 医療と介護の連携ワーキング

【概要·内容】

医療・介護の連携を進めるための具体的な取組について検討する 【ねらい】

- ① 医療と介護の連携の目指す方向の共有をすることができる (住民がのぞむ暮らしを実現できるための地域包括ケアシステムの構築のため であること)
- ② ①のために自分たち専門職ができることを考え、取り組むことができる



- 介護と医療について知らないことが多いので、連携がとりにくい
- 地域包括ケア体制の構築のためには、中央での研修や 意見交換だけでは、構築できない
- 医療職は介護保険制度を知らない人が多いのではない か
- 介護職が、医療の知識を勉強したいので、その機会が 欲しい
- 介護職の新しい知識の習得の機会が少ない

など

【具体策】

多職種での勉強会の実施(知識の習得と顔の見える関係作りができる)

医療と介護の合同勉強会(第1回)

「薬剤師に聞いてみよう」

平成29年2月28日(火)@加賀市役所





- ロ 日常生活圏域内の事業所でグループを設定 (地域ごとのチームを意識)
- ロ グループごとに複数名の薬剤師を配置。日々の業務で感じる薬に関する疑問や悩みについて、直接、薬剤師さんに聞いてみる
- ロ 薬剤師会から、多職種の方々に知っておいてほしい 薬局の機能や制度などを紹介
- □ 薬剤師会が会員薬局に事前にアンケートを実施。各 薬局の機能を一覧化して配布(一包化・印字対応、配 達の対応など)

関心の高いテーマを設定し、継続して実施

加賀市医療センターを拠点とした地域の連携体制



救命医療センター・大学病院等

高次医療が必要 な場合には紹介

急性期医療の中核医 療機関として、救急搬 送を断らない体制を 目指し、急性期と回復 期を担うとともに、在 宅復帰支援の強化と 後方支援を行う



地域連携センター「つ むぎ」に在宅医療 コーディネーターを配 置し、介護職からの 医療面での相談等に 対応



日常生活圏域

治療の必要が ない患者は地 域の介護サー ビスで対応



回復期• 慢性期病院



診療所• かかりつけ医



病院•診療所• 介護サービス の連携強化

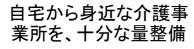


分散・拡大





在宅でも24時間 365日の介護



市民による地域医療を 守る取り組み